

9/30

農業EXPO

セミナー スケジュール



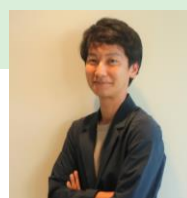
10:30~10:55

農業初心者講座

～わたらしい就農スタイルを見つけよう！～

現在の農業事情を踏まえながら、就農スタイル、就農の方法まで分かりやすく解説いたします。

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部 農業活性営業部 総合企画営業課 課長
伊藤慎吾



2015年株式会社マイナビ中途入社。

長年人材領域において、採用コンサルタント業務に従事し、北海道～首都圏まで全国1000社を超える採用支援に携わる。

2023年より農業分野にて、農家向け情報発信や新規就農者向けイベントの運営などを行うとともに、第一次産業の担い手を増やすべく、第一次産業に特化したインターンシップ情報サイト「マイナビ農業インターンシップ」などを運営。

11:35~12:00

誰のために・何のために・なぜ農業を始めるのか？

就農サポートしつつ、自ら新規就農した経験を基に就農の第一歩についてお話しします。

一般社団法人イシノマキ・ファーム 企画コーディネーター
兼 あぼーぼら・いしまき農園 代表 石牧紘汰



1994年5月28日生まれ。神奈川県横浜市出身。

大学時代に心理学を専攻していたが、福島県で農業と地域の魅力に触れる。大学卒業後は医療系のメーカーで営業職に就くも、2019年に退職し、宮城県石巻市へ移住。現在は一般社団法人イシノマキ・ファームで石巻市の新規就農希望者をサポート。4年間で100人以上の相談を受け、伴走型支援をしている。2022年に自らも新規就農し、あぼーぼら・いしまき農園を開園。兼業農家を始めた。「かぼちゃで繋がる輪」をキャッチフレーズに50aの農地でカボチャ栽培を始め、農業体験の受入なども行っている。

12:40~13:05

初代米農家奮闘記！

農地なし、機械なし、技術なしからスタートした米農家。17年間の苦勞と喜びのお話

株式会社わくわくお米本舗 取締役/カメラビジネスサポート 代表
亀田泰志



東京と大阪でサラリーマンとして働いた後、実家に帰り、何を思ったか新規に就農。同時に中小企業診断士の資格も取得し、中小企業診断士農家になる。現在は10haの農地で「初代米農家」として米を生産し、その米を使った米菓子を製造、全国で販売している。

13:45~14:10

これからの日本の農業

～人と人の繋がりで継続する農業～

農業の魅力や将来性、課題を就農25年のベテラン農家が紹介します。

飯野農園
飯野芳彦



東京農業大学短期学部卒業後20歳で就農し25年目。2017年度、全国農協青年組織協議会会長、2018年度～19年度、全国農協青年組織協議会参与。

都市近郊型産地として露地野菜を中心に栽培。労働力は従業員1名、パート9名。ストレスを緩和する生産管理を行い美味しい野菜の生産と地域の気候・土壌の特性を活かした生産に取り組む。

地域地場産業として地域の雇用を生み出し笑顔で働ける環境を作り出す努力を惜しみません。

笑顔で生産する野菜を笑顔で食べていただけることをモットーに日々生産に取り組んでいます。

14:50~15:15

脱サラ農業のすゝめ

農業経験無し！7年のサラリーマン生活を経て、脱サラ就農した経験談をお話します。

ベジLIFE!! 代表
香取岳彦



「農業を憧れの職業に!!」を理念に掲げ、2016年に脱サラ就農しました。農業経験が全く無い中で、1年研修した後、年間50品目150品種の無農薬無化学肥料の野菜を栽培し、毎月500～1,000セットの野菜ボックスをご家庭と飲食店にお届けしています。SDGsの取組みにも注力し、地元産業の副産物であるキノコ菌床、馬ふん堆肥、酵素チップを土づくりに活用しています。

脱サラ農業の良い点、悪い点を赤裸々にお伝えできればと思います。

15:55~16:20

営農支援ツール「アグリノート」の活用事例紹介

農作業現場の課題とアグリノートの活用ポイントを中心に紹介

ウォーターセル株式会社 取締役・ファウンダー
長井啓友



2010年、農業生産者との出会いをきっかけに営農支援ツール「アグリノート」の開発に着手。2011年、ウォーターセル株式会社を設立。2012年、アグリノートをサービス化。その後、スマート農機や農業用ドローン、人工衛星、農業センサーとの連携を進め、生産性の向上につながる機能を追加。2020年、お米の計画的な生産・販売を支援するアグリノート米市場をスタート。ITツールの提供に留まらず、生産から販売まで幅広い営農支援を目指して活動中。



新・農業人フェア